

宇宙開発の現状報告

(平成 24 年 5 月 23 日(水曜日) ~ 平成 24 年 6 月 12 日(火曜日))

平成 24 年 6 月 13 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

- 準天頂衛星初号機「みちびき」のルビジウム原子時計の冗長系切り替えと測位信号提供の一時中断
6月4日(月曜日)、JAXAは、平成22年9月11日に打ち上げられた準天頂衛星初号機「みちびき」において、6月4日1時42分(日本時間)、ルビジウム原子時計2を含む時刻生成システムが不安定となり、正常な測位信号が生成できなくなったため、直ちに測位信号の提供を一時中断した。
その後、冗長系のルビジウム原子時計1に切り替えを実施し、正常動作を確認後、「みちびき」の信号精度等に影響がないことを確認した上で、同日10時15分に、測位信号の提供を再開した。
- 太陽観測衛星「ひので」から見た金星の太陽面通過
6月6日(水曜日)、JAXA及び国立天文台は、太陽観測衛星「ひので」に搭載された可視光・磁場望遠鏡により撮影された金星の太陽面通過の画像及び動画をホームページで公開した。

- 衛星搭載船舶自動識別実験「SPAISE」船舶からのAIS信号を受信

6月6日(水曜日)、JAXAは、平成24年5月18日に打ち上げた小型実証衛星4型(SDS-4)に搭載した衛星搭載AIS(Automatic Identification System; 船舶自動識別システム)受信機による日本付近を航行する船舶からの信号受信を確認したと発表した。

衛星搭載船舶自動識別実験(Space-based AIS Experiment: SPAISE)では、衛星搭載AIS受信機の軌道上における機能・性能の確認及び受信したAIS信号の混信状況の評価を行う。

今後は、様々な海域における衛星でのAIS信号受信を試み、衛星搭載AIS受信機の技術的な検証を進めていくとのこと。

宇宙開発に関する海外の動向

- 中国、長征3Bロケットによるチャイナ・サットコム社の通信衛星「中星2A」の打上げに成功【中】
5月26日(土曜日)15時56分(世界標準時、以下同じ)、中国は西昌衛星発射センターより、長征3Bロケットを打上げ、衛星運用企業チャイナ・サットコム社の通信衛星「中星2A」の軌道投入に成功した。
- 中国、長征4Cロケットによる地球観測衛星「遥感15号」の打上げに成功【中】
5月29日(火曜日)7時31分、中国は太原衛星発射センターより、長征4Cロケットを打上げ、地球観測衛星「遥感15号」の軌道投入に成功した。

- 米スペースX社のドラゴン宇宙船、ISS から分離しカリフォルニア沖に着水 【米】
5月31日(木曜日)15時42分、米スペースX(SpaceX: Space Exploration Technologies)社の貨物輸送仕様の「ドラゴン(Dragon)」宇宙船が、ISSの実験装置等620kgを搭載し、米国カリフォルニア沖に着水した。同宇宙船は、NASAの商業軌道輸送サービス(COTS)契約の第2回試験打上げ(COTS-2+)として22日に打ち上げられ、25日に民間機として初めてISSに結合していた。
- ゼニット3SL ロケットによる通信衛星「インテルサット19」の打上げに成功 【米、露】
6月1日(金曜日)5時23分、シー・ロンチ社はオデッセイ海上プラットフォームより、ゼニット3SL ロケットを打上げ、米インテルサット社の通信衛星「インテルサット19」の所定の軌道投入(静止トランスファ軌道)に成功した。